

女性消防職員の採用・職域等に係る経緯

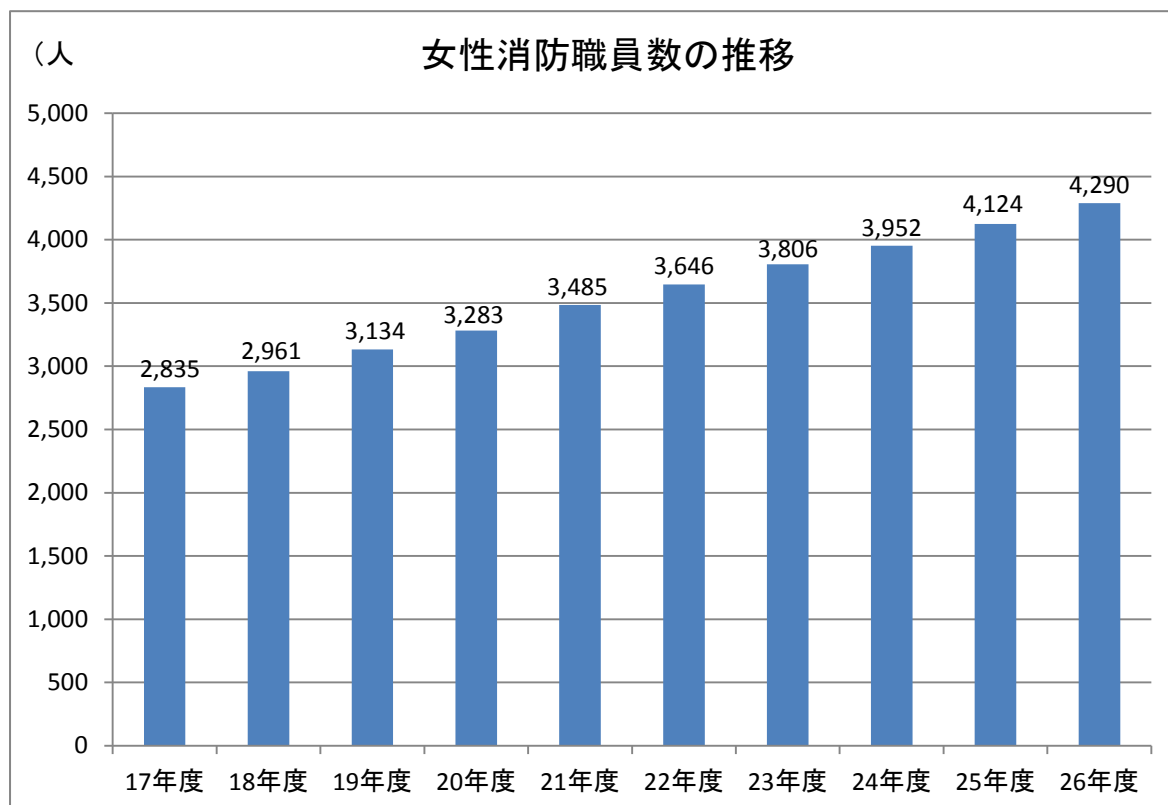
昭和44年 (1969年)	○ 川崎市が12人の婦人消防官を初めて採用(2月)、横浜市、越谷市が採用開始(4月) ▶ 女性が持つ特性を活かし、きめ細やかでソフトな消防行政を行うことが当初の採用目的 ▶ 主な業務は主婦や高齢者、子ども等への防火・防災教育等	平成9年 (1997年)	○ 「男女雇用機会均等法」の一部改正 ▶ 募集・採用、配置、昇進について、従来の努力義務から禁止規定に。また、女性のための募集・女性優遇も原則禁止 ▶ セクシュアルハラスメントについての事業主の雇用管理上の配慮義務が定められた。
昭和45年 (1970年)	○ 日立、北茨城、所沢、岩槻、朝霞、入間、新座、館山の各市で採用を開始	平成16年 (2004年)	○ 消防庁から以下の事項について各消防本部等へ通知を发出 ▶ 女性消防職員の採用、職域拡大等に係る留意事項を周知 ・ 男女の区別なく平等な受験機会が与えられること ・ 職域の拡大が図られるよう、積極的な取組が求められること ・ 警防業務を含む消防活動において基本的には女性も男性と同様に活動できること(有毒ガスの発散場所を除く) ・ 仮眠室やトイレ等の環境整備に計画的に取組むこと
昭和47年 (1972年)	○ 東京消防庁が採用開始		
昭和60年 (1985年)	○ 「男女雇用機会均等法」の制定 ▶ 募集・採用、配置、昇進について、女性を男性と均等に取り扱うことを努力義務に 等		
平成3年 (1991年)	○ 「地方公務員の育児休業等に関する法律」の制定	平成19年 (2007年)	○ 消防庁において「女性消防職員の職場環境等に関する調査検討会」を開催 ▶ 女性消防職員の職場環境等を調査し、その結果を通知するとともに、平成16年の通知に基づく更なる取組を要請
平成6年 (1994年)	○ 「女性労働基準規則」の一部改正 ▶ 消防の業務についても、女性の深夜業の規制を解除。これにより、24時間体制(交替制勤務)での119番受信指令業務や救急業務への従事が可能に		

■女性消防職員数

各年度4月1日現在

	消防職員数(人)			女性割合
	計	男性	女性	
平成17年度	156,082	153,247	2,835	1.8%
平成18年度	156,758	153,797	2,961	1.9%
平成19年度	157,396	154,262	3,134	2.0%
平成20年度	157,860	154,577	3,283	2.1%
平成21年度	158,327	154,842	3,485	2.2%
平成22年度	158,809	155,163	3,646	2.3%
平成23年度	159,354	155,548	3,806	2.4%
平成24年度	159,730	155,778	3,952	2.5%
平成25年度	160,392	156,268	4,124	2.6%
平成26年度	161,244	156,954	4,290	2.7%

(備考)消防庁「消防防災・震災対策現況調査」により作成

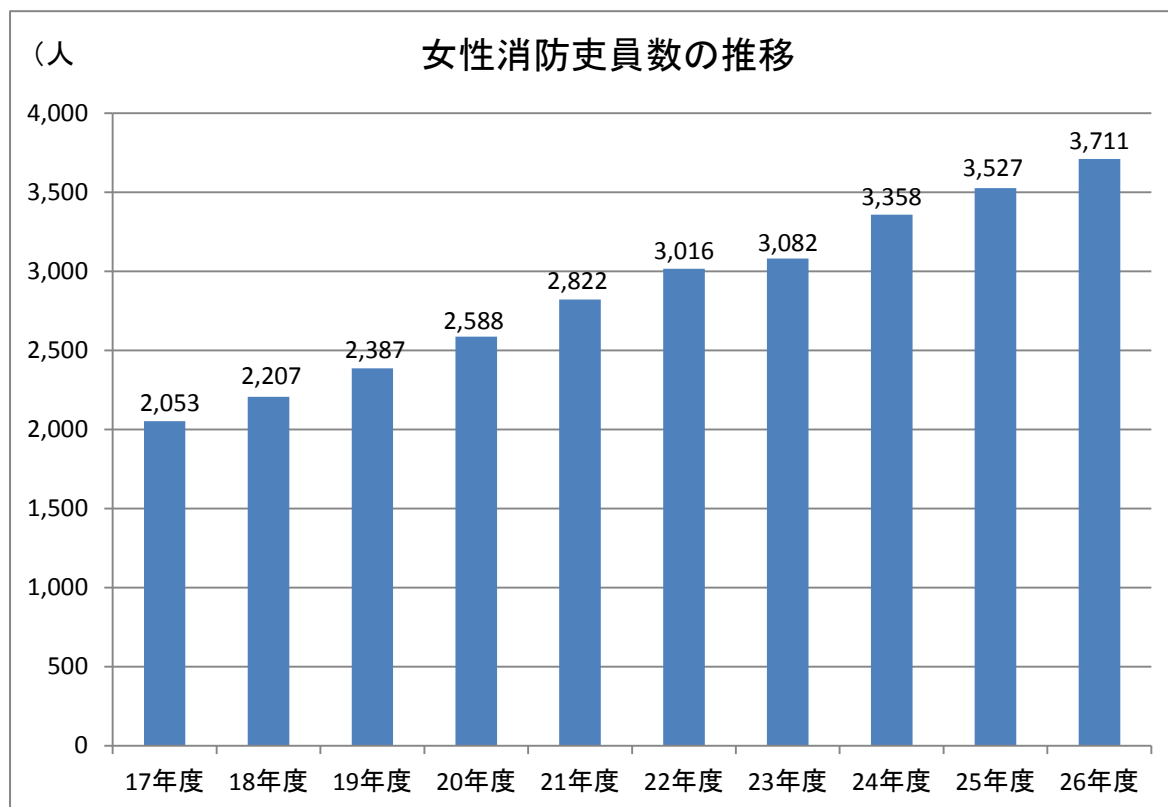


■女性消防吏員数

各年度4月1日現在

	消防吏員数(人)			女性割合
	計	男性	女性	
平成17年度	154,427	152,374	2,053	1.3%
平成18年度	155,061	152,854	2,207	1.4%
平成19年度	155,670	153,283	2,387	1.5%
平成20年度	156,205	153,617	2,588	1.7%
平成21年度	156,656	153,834	2,822	1.8%
平成22年度	157,212	154,196	3,016	1.9%
平成23年度	157,784	154,702	3,082	2.0%
平成24年度	158,194	154,836	3,358	2.1%
平成25年度	158,905	155,378	3,527	2.2%
平成26年度	159,787	156,076	3,711	2.3%

(備考)消防庁「消防防災・震災対策現況調査」により作成



階級を有する他職種との比較

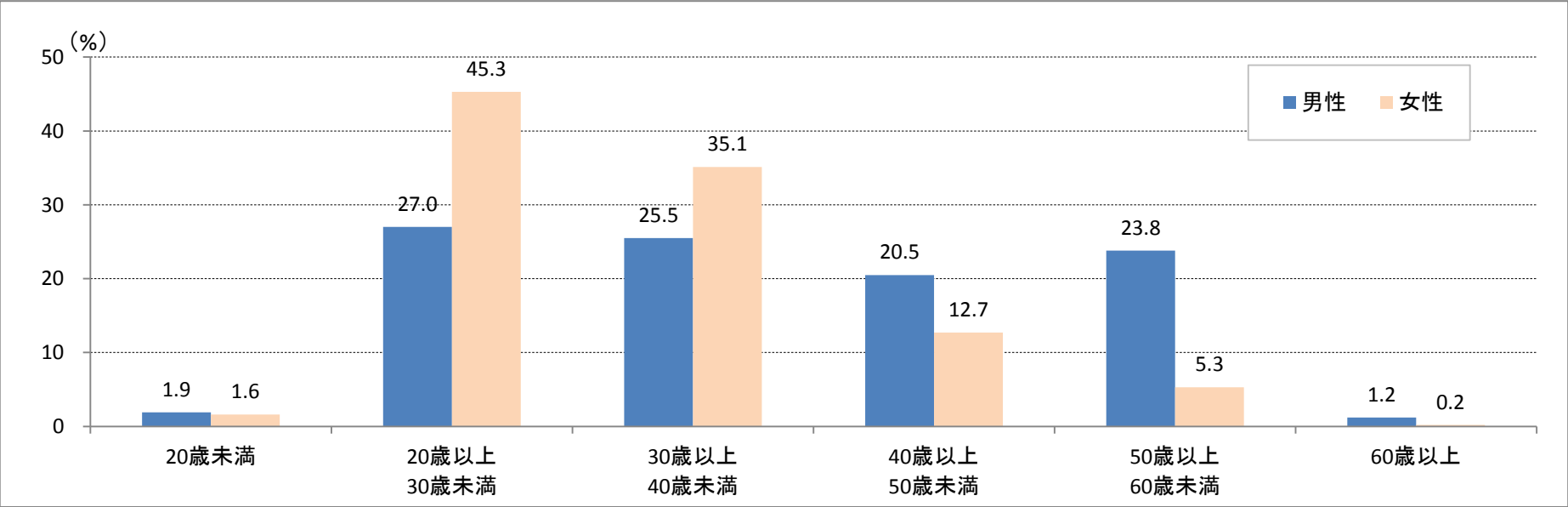
資料3

- ▶ 消防吏員全体に占める女性の割合は2.3%で、警察官(7.7%)、自衛官(5.6%)、海上保安官(5.5%)と比べると、低い水準にとどまっている。
(単位:人(%))

	総 数	男性数 (構成比率)	女性数 (構成比率)
都道府県警察官 (H26.4.1現在)	257,669	237,813 (92.3%)	19,856 (7.7%)
自衛官 (H25年度末現在)	225,712	213,113 (94.4%)	12,599 (5.6%)
海上保安官 (H26年度)	13,208	12,475 (94.5%)	733 (5.5%)
消防吏員 (H26.4.1現在)	159,787	156,076 (97.7%)	3,711 (2.3%)

(備考) 警察官:①総数 平成26年版警察白書P192「警察職員の定員」のうち「都道府県警察の警察官数」より
②女性数 平成26年版警察白書P48「都道府県警察の女性警察官数及び警察官に占める女性警察官の割合の推移」より
③男性数 ①-②
自衛官(総数・男性数・女性数):防衛省ホームページ「防衛省における女性職員に関する統計資料」より
海上保安官:①総数 国土交通省定員規則より
②女性数 海上保安庁ホームページ「海上保安レポート2014」より
③男性数 ①-②
消防吏員:平成26年度「消防防災・震災対策現況調査」より

男女別・年代別消防吏員割合



平成26年4月1日現在

年齢		20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上	合計
男性	人数	2,959	42,217	39,811	32,046	37,182	1,861	156,076
	割合 (%)	1.9%	27.0%	25.5%	20.5%	23.8%	1.2%	100.0%
女性	人数	58	1,681	1,301	470	195	6	3,711
	割合 (%)	1.6%	45.3%	35.1%	12.7%	5.3%	0.2%	100.0%
合計	人数	3,017	43,898	41,112	32,516	37,377	1,867	159,787
	割合 (%)	1.9%	27.5%	25.7%	20.3%	23.4%	1.2%	100.0%

(備考) 1 消防庁「平成26年度消防防災・震災対策現況調査」により作成
2 小数点第二位を四捨五入のため、合計が100%とならない場合がある。

■ 階級別消防吏員数(女性吏員の割合)

平成26年4月1日現在 (人)

消防吏員数	消防 総監	消防 司監	消防 正監	消防 監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防 士	合計
合計	1	29	330	1,372	6,035	21,438	40,743	40,435	16,066	33,338	159,787
女性	0	0	0	2	15	153	628	1,088	709	1,116	3,711
割合(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.7%	1.5%	2.7%	4.4%	3.3%	2.3%

(備考) 消防庁「平成26年度消防防災・震災対策現況調査」により作成

■ 男女別階級構成

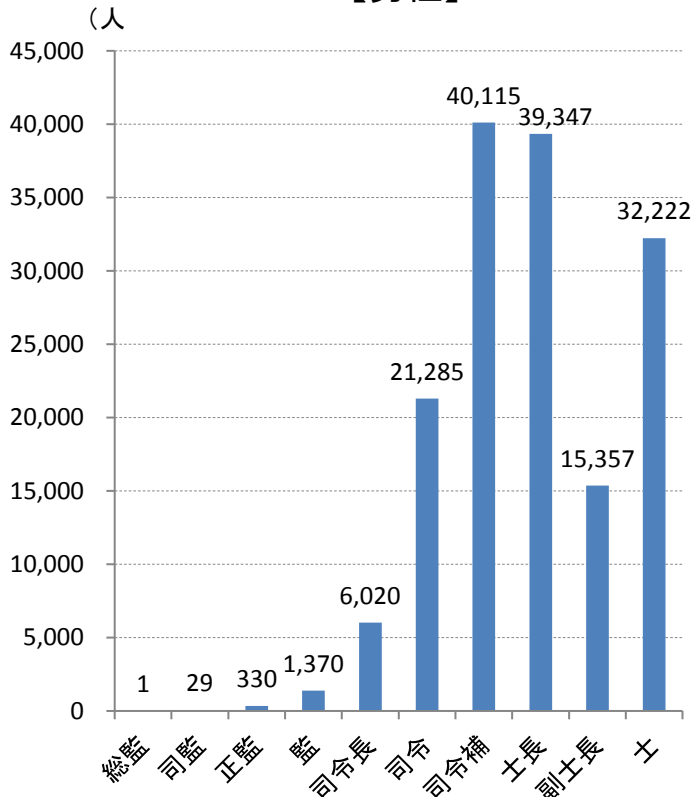
平成26年4月1日現在 (人)

消防吏員数	消防 総監	消防 司監	消防 正監	消防 監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防 士	合計
男性	1	29	330	1,370	6,020	21,285	40,115	39,347	15,357	32,222	156,076
割合(%)	0.0006%	0.02%	0.2%	0.9%	3.9%	13.6%	25.7%	25.2%	9.8%	20.6%	100.0%
女性	0	0	0	2	15	153	628	1,088	709	1,116	3,711
割合(%)	—	—	—	0.1%	0.4%	4.1%	16.9%	29.3%	19.1%	30.1%	100.0%
合計	1	29	330	1,372	6,035	21,438	40,743	40,435	16,066	33,338	159,787

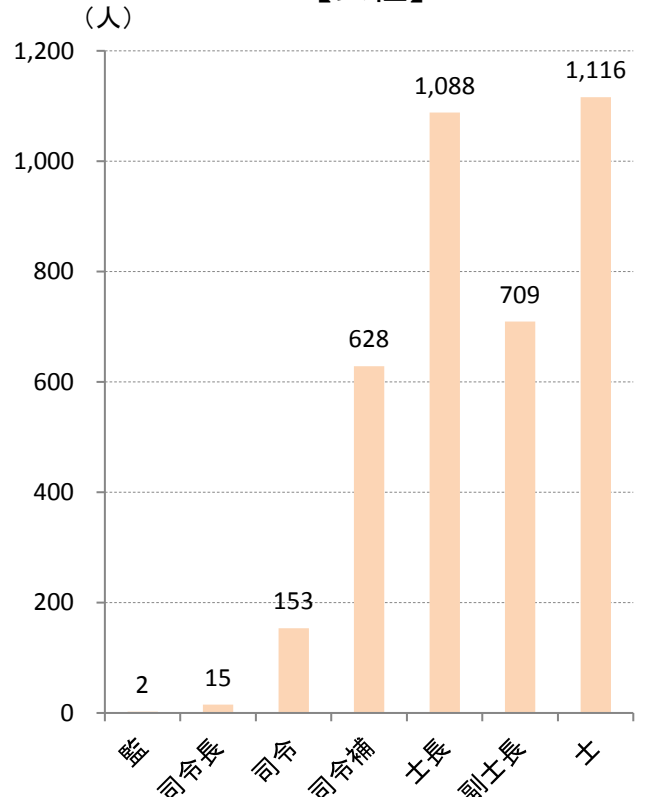
(備考) 1 消防庁「平成26年度消防防災・震災対策現況調査」により作成

2 小数点第二位を四捨五入のため(消防総監及び消防司監を除く。)合計が100%とならない場合がある。

【男性】



【女性】



※女性の正監、司監はいない。

■勤務体制別消防吏員数

平成26年4月1日現在

	毎日勤務		交替制勤務		消防本部以外に勤務 (消防学校、派遣等)		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
合計	30,759	19.3%	125,504	78.5%	3,524	2.2%	159,787
男性	28,880	18.5%	123,783	79.3%	3413	2.2%	156,076
女性	1,879	50.6%	1,721	46.4%	111	3.0%	3,711

(備考) 消防庁「平成26年度消防防災・震災
対策現況調査」により作成



【交替制勤務者における担当業務別割合】

消防隊	救急隊	救助	通信・指令	その他	計
16.1%	24.6%	0.0%	4.2%	1.5%	46.4%

(備考) 担当業務別割合は全国消防長会「消防現勢」の「8 女性消防吏員と職務状況」を参考に作成した。

【毎日勤務者】: 行政職員等と同様、平日の日中に勤務する職員。主に立入検査や防災指導等行う予防業務や庶務業務に従事。

【交替制勤務者】: 24時間体制の泊まり勤務を行う職員。主に消火・救急・救助などの災害に対応する警防業務に従事。

消防本部規模別女性消防吏員数

資料7

平成26年4月1日現在

小規模
↑
↓
大規模

消防吏員数	本部数		うち女性吏員の いる本部数		吏員数		女性吏員数	
	全本部数に 占める割合		各規模の本部数に 占める割合		全吏員に占 める割合		本部規模別吏員数 に占める割合	
合計	752	100.0%	448	59.6%	159,787	100.0%	3,711	2.3%
100人未満	301	40.0%	100	33.2%	19,478	12.2%	180	0.9%
100～299人	345	45.9%	244	70.7%	57,056	35.7%	855	1.5%
300～499人	71	9.4%	69	97.2%	27,421	17.2%	515	1.9%
500～699人	13	1.7%	13	100.0%	7,420	4.6%	174	2.3%
700～999人	9	1.2%	9	100.0%	7,789	4.9%	221	2.8%
1,000人以上	13	1.7%	13	100.0%	40,623	25.4%	1,766	4.3%

(備考) 1 消防庁「平成26年度消防防災・震災対策現況調査」により作成
2 本部数の割合について、小数点第二位を四捨五入のため、合計が100%とならない。

■ 男女別の受験者数、合格者数の比較

		24年度			23年度			22年度		
		合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
消防	受験者数	37,391	35,487	1,904	32,522	30,629	1,893	27,628	25,916	1,712
		100.0%	94.9%	5.1%	100.0%	94.2%	5.8%	100.0%	93.8%	6.2%
	合格者数	2,685	2,572	113	2,719	2,530	189	2,839	2,684	155
		100.0%	95.8%	4.2%	100.0%	93.0%	7.0%	100.0%	94.5%	5.5%
		24年度			23年度			22年度		
		合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
市区町村	受験者数	346,318	222,516	123,802	350,566	220,771	129,795	343,148	214,933	128,215
		100.0%	64.3%	35.7%	100.0%	63.0%	37.0%	100.0%	62.6%	37.4%
	合格者数	42,778	22,824	19,954	40,368	21,161	19,207	38,305	20,335	17,970
		100.0%	53.4%	46.6%	100.0%	52.4%	47.6%	100.0%	53.1%	46.9%

※1 消防の人数は、女性消防吏員数上位30本部を対象とした調査結果を使用

ただし、試験申込書に性別の記入欄を設けていないため、性別が不明な本部を除く。

※2 市区町村の人数は、自治行政局公務員部「地方公共団体の勤務条件等に関する調査」結果の表11を引用

ただし、性別が不明(試験申込書に性別の記入欄を設けていない試験のため、性別が不明)である区分「不明」の人数は含まない。

対象:女性消防吏員数上位30本部

■年代別・男女別退職者の状況(普通退職)

(単位:人)

		25年度							24年度							23年度						
		20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上	計	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上	計	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上	計
男性	吏員数	683	12,423	11,877	9,700	13,204	523	48,410	590	11,741	11,605	9,550	13,669	405	47,560	649	11,273	11,420	9,595	14,311	409	47,657
	離職者数	11	154	31	19	43	14	272	10	135	24	23	32	47	271	10	152	31	18	37	60	308
	離職率	1.61%	1.24%	0.26%	0.20%	0.33%	2.68%	0.56%	1.69%	1.15%	0.21%	0.24%	0.23%	11.60%	0.57%	1.54%	1.35%	0.27%	0.19%	0.26%	14.67%	0.65%
女性	吏員数	31	771	802	340	153	3	2,100	28	756	772	289	145	1	1,991	30	727	755	258	141	1	1,912
	離職者数	0	7	6	3	2	0	18	2	13	4	3	2	0	24	2	9	8	3	0	0	22
	離職率	0.00%	0.91%	0.75%	0.88%	1.31%	0.00%	0.86%	7.14%	1.72%	0.52%	1.04%	1.38%	0.00%	1.21%	6.67%	1.24%	1.06%	1.16%	0.00%	0.00%	1.15%
合計	吏員数	714	13,194	12,679	10,040	13,357	526	50,510	618	12,497	12,377	9,839	13,814	406	49,551	679	12,000	12,175	9,853	14,452	410	49,569
	離職者数	11	161	37	22	45	14	290	12	148	28	26	34	47	295	12	161	39	21	37	60	330
	離職率	1.54%	1.22%	0.29%	0.22%	0.34%	2.66%	0.57%	1.94%	1.18%	0.23%	0.26%	0.25%	11.58%	0.60%	1.77%	1.34%	0.32%	0.21%	0.26%	14.63%	0.67%

対象：女性消防吏員数上位30本部

■ 女性専用施設の整備状況

年度 (対象施設数)	施設の種類	更衣室	仮眠室	浴室	トイレ	洗面室	洗濯機	乾燥機	休憩室
H19年度 (1129)	整備数	374	317	256	457	157	80	73	108
	整備率(%)	33.1%	28.1%	22.7%	40.5%	13.9%	7.1%	6.5%	9.6%
H26年度 (1112)	整備数	533	460	437	633	363	236	205	236
	整備率(%)	47.9%	41.4%	39.3%	56.9%	32.6%	21.2%	18.4%	21.2%

《平成26年度の内訳》

① 本部庁舎数(30か所)									
施設の種類	更衣室	仮眠室	浴室	トイレ	洗面室	洗濯機	乾燥機	休憩室	
整備数	30	22	19	30	19	10	8	12	
整備率(%)	100.0%	73.3%	63.3%	100.0%	63.3%	33.3%	26.7%	40.0%	
② 本署数(300か所)									
施設の種類	更衣室	仮眠室	浴室	トイレ	洗面室	洗濯機	乾燥機	休憩室	
整備数	285	226	222	285	177	152	137	141	
整備率(%)	95.0%	75.3%	74.0%	95.0%	59.0%	50.7%	45.7%	47.0%	
③ 出張所数(726か所)									
施設の種類	更衣室	仮眠室	浴室	トイレ	洗面室	洗濯機	乾燥機	休憩室	
整備数	186	190	174	274	144	63	50	70	
整備率(%)	25.6%	26.2%	24.0%	37.7%	19.8%	8.7%	6.9%	9.6%	
④ その他庁舎数(56か所)									
施設の種類	更衣室	仮眠室	浴室	トイレ	洗面室	洗濯機	乾燥機	休憩室	
整備数	32	22	22	44	23	11	10	13	
整備率(%)	57.1%	39.3%	39.3%	78.6%	41.1%	19.6%	17.9%	23.2%	

■ 資機材等について

①消防本部における資機材や服制等の状況

ア 女性の現場活動に留意した資機材や服制等を整備している。	4本部
イ 女性の現場活動に留意した資機材や服制等は特に整備していない。	26本部

②女性の活動に留意して整備した資機材や服制等の具体例

・活動服等仕様に違いを設けている。 ・面体、手袋に関しては女性でも対応可能な小さいサイズを用意している。 ・消防活動服について、女性仕様のサイズを設けて貸与を行っている。 ・空気ボンベ6L型
--